

在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和元年 5 月 24 日	
市役所 302 会議室	

平成 31 年度 第 1 回  
立川市在宅医療・介護連携推進協議会  
協 議 資 料

令和元年 5 月 24 日 (金)

立川市 福祉保健部 高齢福祉課

報告事項②

広報たちかわ 平成 31 年 4 月 25 日号について	
特集号	介護保険のおしらせ(介護保険課との合併特集号)
内容	<p><b>新規事業</b> 市民・専門職向け講座 看取り支援講演会(資料 5ページ参照) 令和元年 5 月以降、立川市内随所で開催 年間で合計 12 回実施予定 定員は 100 名程度/回、参加者にはエンディングノート配布</p> <p><b>イベント周知</b> 訪問看護 花と緑の市民フェア「在宅医療で元気をもらう」 シンポジウム・個別健康相談・血管 &amp; 骨年齢測定など</p> <p>* その他主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療について学べる市民向け講座の紹介(災害医療センターほか)</li> <li>・認知症ケアパス発行、配布のお知らせ</li> <li>・健康寿命の延伸のために(健康体操普及活動、フレイル予防など)</li> <li>・介護保険、高齢者サービスに関する問い合わせ窓口の紹介</li> <li>・市の高齢者支援制度について紹介</li> </ul> <p>* 立川市出張暮らしの保健室の実施告知記事は、掲載を希望しない自治会等に配慮して特集号での掲載はとりやめ、平成 31 年度は、掲載に同意された開催のみを広報たちかわ各号で掲載することになりました。</p>
平成 31 年度 後半の 予定	<p>次回の広報たちかわ 在宅医療・介護連携の特集の掲載は、令和元年 10 月 10 日号を予定しております。</p> <p>年度の後半に実施する予定のイベント、医療や介護に関する講座や在宅医療介護相談窓口に関すること、認知症に関することなどを掲載する予定です。</p> <p>問合せ・宛先: 立川市在宅医療・介護連携事務局 立川市高齢福祉課介護予防推進係 042-523-2111 内線 1472 杉山・久野 FAX) 042-522-2481</p> <p><a href="mailto:kourei-t@city.tachikawa.lg.jp">kourei-t@city.tachikawa.lg.jp</a></p>

報告事項①



平成 30 年度 医療と介護の連携強化に関する介護支援専門員研修事業 実績報告						
目的	介護支援専門員に義務づけられた、利用者に関して医療職と共有すべき情報（訪問介護事業所等から伝達された情報・介護支援専門員自身が把握した情報）について講義研修・現場研修を通して学ぶ機会を得る					
対象者	立川市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員 立川市内の地域包括支援センターに所属する介護支援専門員等					
内容	■講義研修 受講者 114 名(5回合計)					
		日時	曜日	項目	内容	会場
	1	2019/1/12	(土)	デス・カンファレンス	看取りを行った 3 事例のふりかえり (ケアマネ出席者 45 名)	アイムホール
	2	2019/1/30	(水)	講義研修	医療職とケアマネとのオープンディスカッション (出席者 11 名)	市役所
	3	2019/2/13	(水)	講義研修	同上 (出席者 17 名)	同上
	4	2019/2/27	(水)	同上	同上(出席者 20 名)	同上
	5	2019/3/13	(水)	同上	同上(出席者 21 名)	同上
■現場研修 受講者 21 名(12回合計)(2月下旬から3月上旬に実施)						
災害医療センター(2名)、立川病院(2名)、立川相互病院(2名) ふれあい相互病院(2名)、立川在宅ケアクリニック(2名)、 さいわいこどもクリニック(2名)、@ (あつと) 訪問看護ステーション(1名) ケアセブン訪問看護リハビリテーション砂川十番(1名)、 にしき訪問看護ステーション(2名)、若葉町デンタルクリニック(2名) はる薬局(2名)、榎本調剤薬局(1名)						
■委託先 立川市医師会						
受講生の感想	「医療側の業務を知ることができた。連携、というのは一方の立場や主張だけでは成り立たないこと、連携する側の業務や立場を知り理解する事で成立するのだと現場研修を通じて考え学ぶ機会となった。」 「研修を経て、多職種連携研修にもぜひ参加してみようと思った。」 「(処方薬の)一包化は医師の指示がないとできないと思っていたが、かかりつけ薬剤師からの助言で可能性があるかと知ることができた。」 「どのような研修なのか、もっと事前に情報があつたほうがいい。」 「(研修の内容が、報酬の改定に伴い国が示しているものとは異なっており)何をわかれば良かった研修なのかわからなかった。」					

平成 31 年度 認知症初期集中支援チーム事業・アウトリーチチーム事業

<p>役割</p>	<p><b>【国のガイドライン】</b>                  認知症が疑われるが適切なサービスや医療に繋がっていない方を対象に、認知症サポート医を含めた専門職による支援者がチームとなり、ご自宅等に伺い適切なサービスに繋げていく</p>																											
<p>初期集中チーム構成</p>	<p><b>【北エリア】</b></p> <table border="1" data-bbox="368 624 1422 772"> <tr> <td>認知症サポート医</td> <td colspan="3">鈴木・大高・新田・富永(敬称略)</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td colspan="3">わかば・さいわい・かみすな</td> </tr> <tr> <td>認知症地域支援推進員</td> <td colspan="3">水村</td> </tr> </table> <p><b>【南エリア】</b></p> <table border="1" data-bbox="368 869 1422 1016"> <tr> <td>認知症サポート医</td> <td colspan="3">上杉・塩安・服部・石井(敬称略)</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td colspan="3">ふじみ・はごろも・たかまつ</td> </tr> <tr> <td>認知症地域支援推進員</td> <td colspan="3">兵藤</td> </tr> </table>				認知症サポート医	鈴木・大高・新田・富永(敬称略)			地域包括支援センター	わかば・さいわい・かみすな			認知症地域支援推進員	水村			認知症サポート医	上杉・塩安・服部・石井(敬称略)			地域包括支援センター	ふじみ・はごろも・たかまつ			認知症地域支援推進員	兵藤		
認知症サポート医	鈴木・大高・新田・富永(敬称略)																											
地域包括支援センター	わかば・さいわい・かみすな																											
認知症地域支援推進員	水村																											
認知症サポート医	上杉・塩安・服部・石井(敬称略)																											
地域包括支援センター	ふじみ・はごろも・たかまつ																											
認知症地域支援推進員	兵藤																											
<p>初期集中 H30 実績と H31 予定</p>	<p><b>【北エリア】</b></p> <table border="1" data-bbox="368 1115 1284 1214"> <tr> <th>H30 対応件数</th> <th>H30 終了件数</th> <th>H31 継続件数</th> <th>H31 4 月末現在</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p><b>【南エリア】</b></p> <table border="1" data-bbox="368 1310 1284 1408"> <tr> <th>H30 対応件数</th> <th>H30 終了件数</th> <th>H31 継続件数</th> <th>H31 4 月末現在</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">* 平成 31 年度以降も、各エリア月 1 回チーム員会議を開催予定</p>				H30 対応件数	H30 終了件数	H31 継続件数	H31 4 月末現在	2	2	0	0	H30 対応件数	H30 終了件数	H31 継続件数	H31 4 月末現在	5	5	0	0								
H30 対応件数	H30 終了件数	H31 継続件数	H31 4 月末現在																									
2	2	0	0																									
H30 対応件数	H30 終了件数	H31 継続件数	H31 4 月末現在																									
5	5	0	0																									
<p>アウトリーチ H30 実績と H31 予定</p>	<p><b>【立川市全域】</b></p> <table border="1" data-bbox="368 1653 1284 1751"> <tr> <th>H30 対応件数</th> <th>H30 終了件数</th> <th>H31 継続件数</th> <th>H31 4 月末現在</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">* 平成 31 年度以降も、支援依頼に応じてアウトリーチチームが(医師・看護師・精神保健福祉士・相談員・臨床心理士等)対応し地域包括担当者、高齢福祉課職員等も協力のうえ、ケース会議や訪問等を行う</p>				H30 対応件数	H30 終了件数	H31 継続件数	H31 4 月末現在	5	5	0	0																
H30 対応件数	H30 終了件数	H31 継続件数	H31 4 月末現在																									
5	5	0	0																									

立川市看取り支援事業 / 高齢福祉課在宅支援係	
目的	地域包括支援センターが行う講演会等を通じて、高齢者及びその家族が、高齢者本人が幸せな人生であったと思えるような最期をどのように迎えたらいのか考えてもらうきっかけづくり、ならびに介護に関わる専門職が看取りに対する知識や技術を身につけることを目的とする。
方法	<p>地域包括支援センターに委託し、市民向け講演会等を年2回開催し、介護支援専門員等専門職向けの研修を年1回開催する。</p> <p>① 市民向け講演会等  対象者：市民とその家族、地域の医療介護関係者  開催：各日常生活圏域で年2回の開催  内容：看取り医療の経験のある医師による講演会とその他のメニュー  各会においてエンディングノートの無料配布と記載説明</p> <p>② 介護支援専門員等専門職研修  対象者：地域で看取り医療・介護にかかわる専門職  開催：各日常生活圏域で年1回の開催  内容：看取り医療の経験のある医師による研修会と意見交換会  （オープンディスカッション方式など）</p>
看取り支援講演会開催予定	<p>①令和元年5月22日(水) 13時半～15時半 総合福祉センター  〈あなたは大変な人に何を遺しますか〉  立川在宅ケアクリニック 院長 莊司輝昭 医師  &gt;ふじみ地域包括支援センター</p> <p>②令和元年5月25日(土) 14時半～16時 上砂会館  〈迷惑かけない生き方(逝き方)設計〉  健生会ふれあい相互病院 副院長 藤井幹雄 医師  &gt;かみすな地域包括支援センター</p> <p>③令和元年5月31日(金) 13時半～15時 たましんリスルホール  〈在宅看取りはこわくない〉  はごろも内科小児科 院長 塩安佳樹 医師  &gt;はごろも地域包括支援センター</p> <p>④令和元年6月3日(月) 10時～12時 若葉会館/14時～16時 幸学習館  〈今から始める私の人生会議〉 /6月4日(火) 10時～12時  映画「ぼけますからよろしくお願ひします」 若葉町団地東集会場  &gt;わかば地域包括支援センター</p>

	<p>⑤令和元年6月15日(土) 14時～16時 立川相互病院講堂      &lt;みんなで学ぶ幸せな死に方 からだ編&gt;      石井医院 院長 石井 良幸 医師      &gt;たかまつ地域包括支援センター</p> <p>⑥令和元年7月4日(木) 14時～16時 こぶし会館      &lt;自分らしい最期を迎えるための終活 ～医療編～&gt;      立川在宅ケアクリニック 小島 一男 医師      &gt;さいわい地域包括支援センター</p> <p>⑦令和元年7月22日(月) 14時～16時 女性総合センターアイム      &lt;みんなで学ぶ幸せな死に方 こころ編&gt;      宗教学者・僧侶 釈 徹宗 氏      &gt;たかまつ地域包括支援センター</p> <p>⑧令和元年10月10日(木) 14時～16時 幸学習館      &lt;自分らしい最期を迎えるための終活&gt;      (株)セレモアつくば 相続診断士 依田 光弘 氏      &gt;さいわい地域包括支援センター</p> <p>⑨令和元年10月23日(水) 14時～16時 たましんリスルホール      &lt;暮らしの中で看取るとは&gt;      白十字訪問看護ステーション 代表取締役 秋山 正子 看護師      &gt;はごろも地域包括支援センター</p> <p>⑩以降 企画中</p>
<p>広報など</p>	<p>立川市広報(4月25日号、以降は順次掲載)とちらしの配布</p>

報告事項⑤

市内薬局向けちらしの配布について / 高齢福祉課在宅支援係	
目的	立川市民(特に高齢者)にとって身近な、市内の薬局やドラッグストアに高齢者の医療・介護相談窓口の案内を記載したちらしを設置し、店員から配布してもらうことで、市民が気軽に相談できる体制整備を図る。
方法	市が A6 サイズのチラシを作成し、立川市薬剤師会を通じて市内の薬局やドラッグストアに配布を依頼し、各薬局においてお客様に渡していただく。 ドラッグストアなどについては、市内 6 か所の地域包括支援センターが直接、チラシ設置・配布の協力依頼をおこなう。
背景と期待される効果	立川市内には、介護サービス未利用で地域の支援者とのつながりもなく、自宅で一人で介護を行っている市民がいる。その方々の特徴として、「介護の相談窓口があること自体を知らない」「活用方法がわからない」状況があり、窓口に関する案内が必要である。 介護を必要としている高齢者は、介護関係者とのつながりは無くても医療とのつながりはあることが多いので、薬局で処方薬を受け取る際に、介護に関する案内ができると効果的であると考える。 また、紙おむつ等を必要とする高齢者のために介護者がドラッグストアなどで紙おむつを購入することが多いため、介護者・高齢者が高齢福祉に関する相談窓口の案内(ちらし)を入手することは、必要とする福祉の情報や専門職につながるきっかけとなることが期待される。

協議事項①

平成31年度 在宅医療・介護連携推進協議会 協議内容	
提案	<p><b>&lt;提案内容&gt;</b></p> <p>平成31年度の立川市在宅医療・介護連携推進協議会では、”看取るまでと看取った後の家族への支援”をテーマに年度内4回協議し、現在、立川市内で介護をしている家族および介護を終えた家族への支援についての課題を抽出し、対応策を検討する</p> <p><b>&lt;当協議会で上記の協議を提案する理由&gt;</b></p> <p>少子高齢化・核家族化の進行により、近年、立川市のみならず日本全国で、老老介護、認認介護、障認介護が加速している。また、8050問題は深刻さを増してきており、80歳代の親のために介護離職した50歳代の息子は、親を見送った後に再就職困難に陥り生活の再建ができず追い詰められていくケースが後を絶たない。</p> <p>平成30年度は看取りをテーマに協議し、立川市では市民への普及啓発が足りておらず、専門職にも知識の更なる普及と市民に接する際の具体的技術の向上支援が必要であると判断された。</p> <p>そのことをうけて、平成31年度は看取りに関する普及啓発に関連して「今介護をしている家族が、この先も前向きに患者の在宅療養を支えられるように」「介護を終えた家族が、環境の変化に対応し自分自身の生活再建を果たせるように」を念頭におきながら、家族に対する支援について検討する。</p> <p><b>&lt;協議の具体的方法&gt;</b></p> <p>第1回(5/24) 委員各位がそれぞれの専門的視点で、  「家族に対する支援で〇〇が足りていない」  「介護する家族はこういうことが大変だった」  「専門職がもっと工夫できるのではないかと思った」  こと等を持ち寄り、共有する</p> <p>第2回(8/23) 市内のケアマネにアンケート協力を依頼し、アンケートで得られた結果について、何が要因でそのようなことが起きているのかを状況分析し、解消するためにはどうしたら良いのかを協議する</p> <p>第3回(11/29) 第2回の結果を、立川市の在宅医療・介護連携の今後の強化のためにどのような対応策があるかを協議する</p> <p>第4回(2/21) 第3回で協議した対応策を整理する</p>

協議事項：“看取るまでと看取った後の家族への支援”に関する課題抽出について

この用紙は、協議会終了後に事務局へご提出いただきます。お入り用の場合はコピーをとりお渡しいたしますので、当日お申し出ください。

内容：在宅療養者を自宅で介護している家族や介護を終えた家族について、家族自身が負担に思っていることや家族の発言として表出された要望、また、委員がそれぞれの視点で「介護をしている家族への支援で〇〇が足りていない」と感じる事、「専門職が工夫できるのではないか」と思うことなどを協議いただきます。

以下にご意見等をご記載ください。

記載欄

